

不登校・ひきこもりを考える講演会

教育・不登校研究所「明日が見える」とカラコルの会（日田市・不登校を考える親の会）がコラボして講演会を開きます。不登校やひきこもりは、親や支援者が孤立していると不安ばかりが大きくなり子どもの心が見えてきません。子どもをひきあげようとすると、逆に追いつめてしまいます。講演会に参加して子どもが求める支援について一緒に考えてみませんか

変わる不登校の子どもと親への支援 「学校復帰」から社会的自立へ

写真とチラシの内容は関係ありません

(講師) 加嶋文哉氏

教育・不登校研究所「明日が見える」所長
星の会（不登校・ひきこもりを考える親の会）代表

■2020年8月23日（日）14:00～16:00
（受付13:30）

■日田市民文化会館「パトリア日田」ギャラリー
〒877-0016 大分県日田市三本松一丁目8番11号

■参加費 無料

■定員 70名（先着順で定員になり次第締めきります）
○事前予約は受けていません
○中学生以下の参加はご遠慮ください

■マスクの着用をお願いします。

■連絡先：三苫（カラコルの会）090-1190-9693



<講師のプロフィール>

1959年生まれ。大分大学卒業後に小学校教諭。在職中に「星の会」を設立し、延べ6000人の不登校で悩む親たちの心を聴いてきた。2014年3月に退職した後、教育・不登校研究所「明日（あした）が見える」を設立。現在は、星の会（不登校を考える親の会）代表、教育・不登校研究所「明日（あした）が見える」所長、「不登校を考える親の会ネットワークおおいた」の代表、「登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク」の理事を務めている。星の会は2015年に内閣府特命担当大臣表彰、2017年には「第11回未来を強くする子育てプロジェクト」で「スミセイ未来賞」を受賞した。著書は「不登校の子どもに何が必要か」（共著・慶應義塾大学出版会）「気になる子と学級づくり」（共著・クリエイツかもがわ）がある。趣味は手品。



<主催> 教育・不登校研究所「明日が見える」 <共催> カラコルの会（日田市・不登校を考える親の会）
<後援> 日田市教育委員会・KCVコミュニケーションズ